

奄美群島振興交付金事業計画(R6)の実績に関する評価(総括)

1 成果目標の達成状況

評価対象 事業数	成果目標 設定数	達成状況				【参考】 達成+ おおむね達成
		達成	おおむね達成	未達成	達成度未定	
85	112 (100%)	36 (32%)	29 (26%)	30 (27%)	17 (15%)	65 (58%)

※「達成」…達成度100%以上、「おおむね達成」…達成度70%以上100%未満、「未達成」…達成度70%未満

2 評価結果

【達成度の判定】○(達成):100%以上、△(おおむね達成):70%以上100%未満、×(未達成):70%未満

1	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①奄美群島から群島外に移出する農産物(野菜等、果樹)の輸送量(t) ②奄美群島から群島外に移出する農産物(花き)の輸送量(千本) ③奄美群島から群島外へ移出する農産物(畜産物(成牛))の輸送量(頭) ④奄美群島から群島外に移出する林産物の輸送量(t) ⑤奄美群島から群島外に移出する水産物の輸送量(t) ⑥奄美地域における製造品出荷額(百万円)				
	事業実施年度	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	R 6 ~ R 10		年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	事業主体		値(①)	30,664 t	30,664 t	37,955 t	123.8%	○
	奄美群島12市町村		値(②)	45,457 千本	45,457 千本	47,805 千本	105.2%	○
			値(③)	21 頭	60 頭	20 頭	33.3%	×
			値(④)	3,716 t	3,716 t	3,762 t	101.2%	○
			値(⑤)	4,377 t	4,377 t	5,151 t	117.7%	○
値(⑥)		22,376 百万円	23,719 百万円	25,012 百万円	105.5%	○		
今後の取組方針	評価	農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られた結果、畜産物以外の農林水産物については目標を上回った。畜産物については、生産体制の整備が遅れるなど、想定よりも出荷が見込まれず、目標を下回った。						
今後の取組方針	今後、市町村等との連携を強化し、補助対象者の生産振興計画に基づいた取組の着実な実施による、生産振興や産業振興を図る。							
2	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数				
奄美群島航空運賃軽減事業	事業実施年度	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	R 6 ~ R 10		年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	事業主体	値	1,118 千人	1,169 千人	1,209 千人	103.4%	○	
奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						
3	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	対象路線における航路輸送旅客利用者数(離島割引の利用者数)				
奄美群島航路運賃軽減事業	事業実施年度	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	R 6 ~ R 10		年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	事業主体	値	87 千人	88 千人	115 千人	130.7%	○	
奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

番号	事業名		アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数				
4	奄美群島誘客・周遊促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	値(①航空)		371 千人	388 千人	351 千人	90.5%	△	
	値(②航路)		82 千人	102 千人	231 千人	226.5%	○	
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	航空路では対象路線で一定期間の運休が生じたこともあり、利用者が対前年度比で減少したが、航路は対前年度比で増加し、通年での交流が図られた。				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた広報宣伝等に取り組む。					
番号	事業名		アウトカム指標	観光収入額				
5	奄美群島誘客・周遊促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	値		302 億円	520 億円	313 億円	60.2%	×	
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	世界自然遺産登録地域を含む奄美群島国立公園における持続可能な観光振興を図るため、奄美群島への誘客・周遊を促進する旅行商品の割引や、新たなツアーの造成・割引を実施した。また、観光客の動態データを把握するためにスポットデータを活用した調査を行うとともに、その分析結果を活用するための講習を開催し、地域における観光振興の基盤整備につなげた。			
	事業主体	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	今後は、スポットデータ等による観光客動態の把握・分析を一層進め、その成果を地域事業者や関係機関と共有することで、持続可能な観光振興に資する施策の検討につなげる。また、奄美群島全体を周遊できる旅行商品の造成や販売促進を継続し、旅行者の利便性向上と各島への誘客拡大を図る。さらに、割引事業を通じて得られた効果を検証しつつ、地域経済への波及を最大化するための効果的な支援手法を検討していく。				
番号	事業名		アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数				
6	奄美・沖縄連携交流促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	値(①航空)		73 千人	77 千人	87 千人	113.0%	○	
	値(②航路)		43 千人	51 千人	59 千人	115.7%	○	
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	航空路・航路ともに対前年度比で増加し、両地域の交流が図られた。				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	今後の取組方針	引き続き、沖縄県や奄美群島市町村、事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。					
番号	事業名		アウトカム指標	関東、関西及び沖縄から奄美群島への入込客数				
7	奄美群島誘客・周遊促進事業(「奄美・沖縄」世界自然遺産登録観光連携事業)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 6 年度	令和 6 年度		
	値		245,171 人	389,000 人	241,391 人	62.1%	×	
	事業実施年度		R 4 ~ R 6	評価	・「奄美・沖縄」WEBサイトのコンテンツを活用し、ファミリー層、夫婦・カップル層向けの小冊子を作成し、大都市圏においてイベント等で広報展開を実施した。 ・奄美・沖縄に近い都市圏である福岡都市圏において、世界自然遺産の魅力を訴求することで、奄美・沖縄への関心を喚起させた。 ・ツーリズムEXPOジャパンの鹿児島県・沖縄県それぞれのブースにおいて、一般向けのPR及び観光関係者との商談・情報交換を行った。			
	事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	今後の取組方針	沖縄県と連携し、これまで制作してきた自然環境の保全と利用の両立を考慮した情報発信ツール等を活用したプロモーションや両地域への旅行の促進を図る。				

番号	事業名		アウトカム指標	①マンゴー:追熟型良食味品種の選抜(1品種)、品質安定技術確立(1技術) ②えだまめ:奄美の新規有望品目、えだまめの生産性向上(単収増加:kg/10a)				
8	農業創出緊急支援推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値(①)	0	1			—
			値(②)	260 kg/10a	400 kg/10a	kg/10a		—
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	マンゴーは、追熟型品種(2品種)の生育特性・果実品質特性の把握に取り組んだ。えだまめは、土壌表面の硬化が発芽に及ぼす影響等を調査した。令和6年度については、アウトカム指標の実績となる数値なし。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	マンゴーでは、輸送到着後の貯蔵可能期間を調査することとしている。えだまめでは、土壌粒子の細かさや散水量、播種の深さなどが発芽に及ぼす影響の要因解析を行うこととしている。					
番号	事業名		アウトカム指標	適期管理による単収の向上(kg/10a)				
9	さとうきび産地活性化事業(さとうきび機械導入等支援事業)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	H28~R4(平年値)	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値	5,311 kg/10a	5,737 kg/10a	5,498 kg/10a	81.6%	△
	事業実施年度	R 4 ~ R 6	評価	機械導入等の支援により、さとうきびの適期管理が図られた。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	さとうきびの効率的・安定的な生産体制を確立するため、引き続き、作業受託組織等を対象に新規機械導入や機能向上の支援を行う。					
番号	事業名		アウトカム指標	ハブ咬傷者数				
10	ハブ対策事業(ハブ駆除対策事業)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	H26~R5(平年値)	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	40.4 人	40 人以下	49 人	81.6%	△
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	咬傷者は49人で、目標を達成できなかった。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	ハブ咬傷者数40人以下を目標として、引き続きハブに関する情報提供に努めるとともに、ハブ個体群変動調査等を行い、ハブとの棲み分けの検討を進める。					
番号	事業名		アウトカム指標	ハブ咬傷による死亡者数				
11	ハブ対策事業(ハブ咬症対策事業)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	0 人	0 人	0 人	達成	○
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	ハブ咬傷による死亡者発生0を目標とし、咬傷時に備え医療機関等へ抗毒素の配備を行う。					
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数				
12	奄美世界自然遺産保全・活用推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	176 人	226 人	205 人	90.7%	△
	事業実施年度	R 6	評価	世界遺産委員会からの要請事項への対応を図るとともに、金作原など保護が重要な地域における利用ルールの運用やアマミノクロウサギのロードキル対策、世界自然遺産に登録されている奄美大島、徳之島、屋久島の高校生を対象とした自然体験型交流学习などに取り組んだ。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	世界自然遺産登録地域の適切な保全・管理の継続的な実施に向けて、遺産としての価値の維持や自然環境の保全と利用の両立、気運の醸成など必要な取組を推進する。					
番号	事業名		アウトカム指標	海面漁業・養殖業の産出額				
13	水産資源利用開発調査事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	8,686 百万円	8,686 百万円	百万円		—
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	令和6年度海面漁業・養殖業の産出額は未集計であるものの、令和5年度においては、9,026百万円であり、直近年においては達成している状況。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	地域特産種の資源増大や藻場造成、未・低利用資源の加工品開発を継続し、奄美群島全体の水産業振興に寄与する。					

14	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島の宿泊観光客数				
	奄美パーク展示等リ ニューアル事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値	749 千人	874 千人	962 千人	110.1%	○
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	最終目標値をわずかに達成できなかったが、奄美群島の観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。			
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	奄美大島が世界自然遺産に登録され、奄美パークは情報発信拠点施設として重要な施設であることから、引き続き着実に事業の推進を図る。					
15	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島の農業算出額				
	農業創出緊急支援事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	32,821 百万円	35,806 百万円	百万円		—
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	※統計数値がしめされていないため達成度未定 引き続き本事業により、付加価値の高い農業と、台風災害に強い施設等の整備を推進し、農業産出額の増加を図る。			
事業主体	市町村、営農集団等	今後の取組方針	引き続き、付加価値の高い農業の推進と台風災害に強い施設等を整備し、農業の生産基盤整備を図る。					
16	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	群島民一人当たり所得水準(対鹿児島県民所得)				
	奄美群島成長戦略ビ ジョン実現事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	90.1 %	92.5 %	%		—
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	※統計数値が示されていないため達成度未定			
事業主体	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	令和4年度までの数値が公表されており、その数値が現時点で、最終年度目標値を上回っている状況である。令和5年度以降も数値が上昇するよう、引き続き、当該事業に取り組んでいきたい。 また、評価を行っている数値が今回評価年度の数値ではないため、令和6年度の数値が公表された際は、改めて評価を行う必要がある。					
17	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島内における総生産額(名目)				
	奄美群島民間主導型産 業振興モデル構築支援 事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	348,372 百万円	354,059 百万円	百万円		—
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	※統計数値が示されていないため達成度未定			
事業主体	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	令和4年度までの数値が公表されており、その数値が現時点で、最終年度目標値を上回っている状況である。令和5年度以降も数値が上昇するよう、引き続き、当該事業に取り組んでいきたい。 また、評価を行っている数値が今回評価年度の数値ではないため、令和6年度の数値が公表された際は、改めて評価を行う必要がある。					
18	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	観光客一人当たりの消費額				
	奄美群島観光しまづくり プラン推進事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	68,975 円	79,658 円	69,557 円	87.3%	△
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	物産展等を開催するとともに、大都市圏における旅行説明会や観光イベントへの出店、FAMトリップの開催を通じ、旅行者、一般消費者にそれぞれターゲットを絞ったアピールを実施出来た。併せて観光客の満足度等を図るためアンケートを引き続き実施した。			
事業主体	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	奄美群島観光物産協会や沖縄との連携を進め観光交流人口増加に向けた施策を積極的に展開する。					

番号	事業名		アウトカム指標	移住体験事業参加者のうち移住した者の数				
19	奄美群島移住支援事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	27 人	43 人	10 人	23.3%	×
	事業実施年度		R 6 ~ R 10					
	事業主体	今後の取組方針	移住者ならびに交流人口の増加を図るため、都市部で開催される移住・交流フェアに参加するとともに、移住体験プログラムの周知や移住者の受け入れ体制整備のため空き家対策にも継続して取り組んでいく。					
奄美群島広域事務組合								
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島エコツーリズム推進協議会が認定したガイドの人数				
20	奄美群島エコツーリズム推進事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	176 人	226 人	205 人	90.7%	△
	事業実施年度		R 6 ~ R 10					
	事業主体	今後の取組方針	認定エコツアーガイドの新規育成、また認定後3年を経過したものには更新講習を実施し、エコツーリズム推進に必要な人材の育成を行った。(認定:29名、更新:27名)					
奄美群島広域事務組合	奄美群島認定エコツアーガイドの育成に引き続き取組みつつ、認定ガイドの質の向上に向けた要件の見直しを検討している。また、エコツーリズムの推進に向けた各島の課題抽出と解決に向けた取組みを検討し、自然観光資源の保全と活用に向けて取組む。							
番号	事業名		アウトカム指標	外国人観光客の受入を担う奄美群島地域通訳案内士の登録者数				
21	奄美群島地域通訳案内士育成事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値	161 件	224 件	168 件	75.0%	△
	事業実施年度		R 6 ~ R 10					
	事業主体	今後の取組方針	地域通訳案内士育成研修を開催し、奄美群島地域通訳案内士の育成を行った。 <登録者数>英語7名					
奄美群島広域事務組合	外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士育成を推進し、受け入れ態勢の強化を図る。							
番号	事業名		アウトカム指標	交流人口動態調査の項目「奄美大島観光の満足度」の評価のうち「大満足」の割合				
22	観光拠点連携情報発信事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	46.3 %	68.7 %	49.3 %	71.8%	△
	事業実施年度		R 6 ~ R 10					
	事業主体	今後の取組方針	対前年度比で+0.8ポイントと改善したものの、目標値と比較すると依然低いままである。特に、引き続き「交通」への満足度の低さが顕著。一方「宿泊・飲食・土産」についてはやや改善傾向。					
(一社)あまみ大島観光物産連盟	引き続き、満足度調査の項目(宿泊、食事、土産、交通、観光施設、自然景観、ホスピタリティ)ごとに分析、合同専門委員会を通して情報の共有を図り改善に取り組む。							
番号	事業名		アウトカム指標	奄美大島への旅行で宿泊や食事、移動、体験、地域住民との交流に対する満足度(「交流人口動態調査」の「奄美大島観光の満足度」の評価のうち「大変満足」の割合)				
23	持続可能な観光立島促進事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	46.3 %	68.7 %	49.3 %	71.8%	△
	事業実施年度		R 6 ~ R 10					
	事業主体	今後の取組方針	対前年度比で+0.8ポイントと改善したものの、目標値と比較すると依然低いままである。特に、引き続き「交通」への満足度の低さが顕著。一方「宿泊・飲食・土産」についてはやや改善傾向					
奄美市	引き続き、満足度調査の項目(宿泊、食事、土産、交通、観光施設、自然景観、ホスピタリティ)ごとに分析、合同専門委員会を通して情報の共有を図り改善に取り組む。							

24	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	村内での体験事業・交流イベント開催による受入人数					
		大和村観光機能向上事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
		事業実施年度		年度	令和 3 年度	令和 8 年度	令和 6 年度			
		R 6 ~ R 10		値	2 千人	3 千人	1.1 千人	36.7%		×
		事業主体		評価	誘客を促進するため、観光情報発信や観光誘客キャンペーンを実施することにより、宿泊と体験を結ぶ取組が展開できた。 新たに、都市部からの交流・関係人口の構築を図るため、大和村ワーキングホリデー事業を実施し、6名の方が2週間滞在し、農業体験や伝統文化・島暮らしを体験通じて地域住民らとの交流を図った。					
		大和村		今後の取組方針	令和6年度に奄美大島発の天然温泉複合施設が本村に開園し、令和7年度には国の特別天然記念物であるアマミノクロウサギの飼育研究及び展示を行う施設「アマミノクロウサギミュージアムQuru Guru」が開所を迎えることで、今後観光客の増加が期待されることから、本村の情報発信による誘客の促進と観光外貨を稼ぐため、温泉施設とQuru Guru・村内宿泊・体験を有機的に結ぶ取り組みを加速させることにより、観光振興を図る。					
25	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	人材データベースの登録人数					
		交流人口拡大に向けた持続可能なピンポイント戦略事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
		事業実施年度		年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 6 年度			
		R 6		値	0 人	20 人	18 人	90.0%		△
		事業主体		評価	交流人口拡大のため、福岡県にて交流イベントを開催した。 里帰りツアーを想定し、中学生の修学旅行を誘致・モニターツアーを行った。					
		宇検村		今後の取組方針	・令和6年度は福岡県のみでのイベント開催となったため、今後は関西・関東でも開催するようにしたい。 ・里帰りツアーの開催を計画する。					
26	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	与論島への入込客数					
		デジタルマーケティング事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
		事業実施年度		年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度			
		R 6 ~ R 10		値	51 千人	70 千人	67 千人	95.7%		△
		事業主体		評価	昨年度に制作したオフシーズンの観光PR動画を中心に、YouTube広告、Facebook・Instagram広告へ配信し、観光PRを実施。加えて、冬場に開催されるイベント(十五夜踊り、ヨロンマラソン)に関する動画配信やインスタライブを継続的に実施し、冬場のヨロン島の魅力発信に繋がった。					
		与論町		今後の取組方針	次年度以降も年間を通じた来訪誘客を図るため、冬場のヨロン島の魅力発信に努めるとともに冬場のヨロン島に求められている魅力等の把握に努めていく。					
27	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	星空等に関連したツアープログラムの開発数					
		地域資源活用事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
		事業実施年度		年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度			
		R 6 ~ R 8		値	4 件	6 件	10 件	166.7%		○
		事業主体		評価	星空観望会の実施、星空案内人養成講座の開催、光害に関する研修会の実施により星空ツーリズムの推進を図った。					
		与論町		今後の取組方針	継続した勉強会や研修会、養成講座の開催により星空ガイドの確保を図るとともに、星空ツアーと音楽鑑賞などといった星空と組み合わせたツアー造成を行うことで、星空ツーリズムの推進を図る。					

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	与論島内の人泊数				
28	地域商品券付旅行商品 造成事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	82 千泊	126 千泊	109 千泊	86.5%	△
			事業実施年度	R 6 ~ R 10				
事業主体	今後の取組方針							
与論町	地域商品券の付与による体験プログラムの利用促進や滞在泊数の増加による地域経済の活性化に努める。							
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	与論島内の人泊数				
29	持続可能な観光体験プ ログラム造成事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	82 千泊	126 千泊	109 千泊	86.5%	△
			事業実施年度	R 6 ~ R 10				
事業主体	今後の取組方針							
与論町	伝統文化体験ツアーの際に、参加者へ身近に文化体験をしてもらうことや伝統文化の内容を容易に把握してもらうための解説ガイドブックを作成し、参加者しやすい環境づくりに努めていく。							
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	沖縄県本部港からの入込客数				
30	沖縄県北部地域連携振 興事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年(暦年)	令和 4 年	令和 8 年	令和 6 年		
			値	5,300 人	6,400 人	7,389 人	115.5%	○
			事業実施年度	R 6 ~ R 10				
事業主体	今後の取組方針							
与論町	地域の歴史・文化への理解を深め、芸能を通じた交流の促進を図っていく。また、沖縄本島北部と与論島を結ぶルートにて、地域の観光資源の魅力を実地で体験してもらう取り組みや地域で生産される農水産物、特産品の広域的な販路開拓を推進し、観光誘客の拡大及び経済活性化を図っていく。							
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	利用者アンケートの項目「施設・サービス内容」の評価のうち「大変満足」の割合				
31	黒潮の森マングローブ パークリニューアル事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年(暦年)	令和 4 年	令和 8 年	令和 6 年		
			値	50 %	70 %	80 %	114.3%	○
			事業実施年度	R 6 ~ R 9				
事業主体	今後の取組方針							
奄美市	令和7年度はトイレの新設を行い、引き続き利用者満足度の向上を図る。							
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	拠点施設共用開始後の販促イベント実施数				
32	徳之島町観光拠点施設 整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 6 年度	令和 6 年度		
			値	0 人	2 人	2 人	100.0%	○
			事業実施年度	R 6				
事業主体	今後の取組方針							
徳之島町	道の駅「とくのしま」が、観光の拠点として、多くの方々に親しまれ、地域の魅力を発信し続けることで今後も賑わいと活気に満ちた場所となるよう、指定管理者との連携を図る。							

33	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数				
	町内観光資源多言語化 事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 6 年度	令和 6 年度		
			値	90,915 人	130,000 人	133,262 人	102.5%	○
	事業実施年度		R 6	評価	目標値は達成できたが、インバウンド需要についてはわかりづらいところもある。			
事業主体	伊仙町	今後の取組方針	未設置の箇所など随時必要な箇所に多言語化看板の設置を行う方針である。また、SNSやHP、パンフレットの多言語化についても検討していきたい。					
34	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	与論島内の人泊数				
	サザンクロスセンター機 能強化整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	82 千泊	126 千泊	109 千泊	86.5%	△
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	サザンクロスセンターやその周辺一帯(ゆんぬ体験館、与論城跡等)の利活用計画を策定した。			
事業主体	与論町	今後の取組方針	利活用計画をもとに、館内展示物のリニューアル、駐車場の整備、周辺一帯を活用したツアー造成などを進めていく。					
35	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	与論島内の人泊数				
	宿泊施設魅力化事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	82 千泊	126 千泊	109 千泊	86.5%	△
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	持続可能な観光地や新たな顧客ニーズへの対応に向け、宿泊施設や観光施設等の改修を実施した。(宿泊施設改修3件、お土産店改修1件)			
事業主体	与論町	今後の取組方針	次年度以降も持続可能な観光地や新たな顧客ニーズへの対応に向けた施設改修を実施し、持続可能な観光地づくりを推進する。					
36	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①徳之島で活躍する登録エコツアーガイドの人数 ②あまみしま博覧会に掲載されている徳之島のプログラム件数(奄美群島エコツーリズム推進協議会における徳之島のモニタリング調査結果) ③認定エコツアーガイド利用実績数(奄美群島エコツーリズム推進協議会における徳之島のモニタリング調査結果)				
	徳之島エコツーリズム 推進事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値(①)	19 人	26 人	29 人	111.5%	○
			値(②)	9 件	13 件	11 件	84.6%	△
値(③)	670 件	1,000 件	2,741 件	274.1%	○			
事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	自然環境保全等に貢献するエコツアーガイドの人材育成の一環として、エコツアーガイドを目指す方々を対象とした研修(I基礎講習5回、II実践講習5回)を実施し、I基礎講習にて23名、II実践講習にて20名が修了した。また、徳之島のエコツアーに関するPR映像を制作し、情報発信を行った。					
事業主体	徳之島世界自然遺産推進協議会	今後の取組方針	引き続き、自然環境保全等に貢献するエコツアーガイドの人材育成を実施するとともに、既存ガイド向けのスキルアップ支援やプロモーション事業等に取り組み、自然環境の保全と観光振興の両立を促すためのエコツーリズムを推進する。					
37	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	町内における廃食油の回収量				
	廃食油BDF化調査実証 事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	0 ℓ	1,000 ℓ	0 ℓ	0.0%	×
	事業実施年度		R 6 ~ R 7	評価	町内において実際に廃食油を回収することは出来なかったが、事業者アンケートを行い、1、020L/月発生量を確認出来た。			
事業主体	知名町	今後の取組方針	本FSで目標値の廃食油を回収できた場合でも、イニシャルコスト・ランニングコストを上回り採算が取れるようになるには、隣町から回収する必要があることが分かった。そのため、採算が取れる仕組み作り等の再検討を行う。					

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	再エネ充電スタンドを利用する電動バイクの登録台数				
38	EVバイク充電スタンド整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	事業実施年度		値	0 台	30 台	8 台	26.7%	×
	R 6		評価	町が無償貸出を行っている電動バイク2車種に対応した充電スタンドの整備を実施(町内3か所)。まずは住民の方に手に取ってもらいやすい環境を整えることで今後の普及促進につなげていく。				
事業主体	今後の取組方針	電動バイクの無償貸出事業の継続や、利便性向上のための充電スタンド整備、車両購入補助金の創設を行う。						
知名町								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①与論島周辺海域に生息するサンゴの種類の把握数 ②重要海域の選定箇所数 ③海洋教育プログラムの追加数 ④与論町サンゴ礁海域協議会運営協議会の実施回数 ⑤製本した与論島サンゴ図鑑の配布学校数 ⑥町営資料館の与論島海域のサンゴ礁展示箇所のリニューアルの完了				
39	サンゴ礁資源活用事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年(暦年)	令和 5 年	令和 8 年	令和 6 年		
			値(①)	0 式	1 式	1 式	100.0%	○
			値(②)	0 箇所	0 箇所	0 箇所		—
			値(③)	0 数	3 数	3 数	100.0%	○
			値(④)	0 回	3 回	1 回	33.3%	×
			値(⑤)	0 校	0 校	0 校		—
値(⑥)	0 式	0 式	0 式		—			
事業実施年度	評価	2日間予備調査を行い3D撮影し、地形図を作成することができた。また、本調査では、4日間全34地点のデータを取ることができ、レッドリストに指定されるサンゴの群体を発見することができた。これまでの活動内容や実績を報告するシンポジウムの開催と海洋教育/ワークショップを開催(3回)した。						
R 6 ~ R 10								
事業主体	今後の取組方針	サンゴ図鑑作成に向けた写真撮影方法の確立が出来たため、次年度以降は図鑑掲載用写真撮影を、島民を巻き込んだ形で実施していきたい。また、調査を継続し、今後の保全に向けた議論を行うためのデータ収集に努める。						
与論町								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美博物館収蔵資料データベースへの年間アクセス数				
40	奄美博物館デジタル・アーカイブ基盤整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
	事業実施年度		値	0 件	5,000 件	0 件	0.0%	×
	R 6 ~ R 8		評価	令和6年度は奄美博物館収蔵資料データベースの公開準備をする期間であるため、WEBページの開設はしたもの、一般への公開は行っていない。令和7年度の下半期から公開を始める予定である。				
事業主体	今後の取組方針	奄美博物館が所蔵するネガ・ポジフィルムのデジタル化を行い恒久的な資料の保存を図るとともに、奄美群島の自然・歴史・文化に関する資料を写真撮影し、収蔵資料データベースに公開を行う。また、デジタル教材を作成して、小中学生が自然・歴史・文化のことを知る機会を創出する。						
奄美市								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	鹿児島県統一模試における5教科(国語・社会・数学・理科・英語)の進学塾受講生の平均偏差値				
41	進学塾事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	事業実施年度		値	46.9 点	51.9 点	48.3 点	93.1%	△
	R 6 ~ R 10		評価	平均偏差値は48.3であったが、継続して受講した生徒は概ね成績の向上が見られた。一方で、クラブチームに所属する生徒はスポーツ推薦に向けた活動のため欠席が多く、学習の遅れが影響して12月の模試では結果が伸び悩み、全体の平均を下げる要因となった。				
事業主体	今後の取組方針	・集中力の維持しやすい時間帯(学校がない土曜日や放課後)での授業実施 ・開始時期の前倒しによる学習時間の確保 ・講師側の要望である数学・英語の時間割の比率を高め、基礎学力の向上を図る						
徳之島町								

番号	事業名		アウトカム指標	①沖縄科学技術大学院大学(OIST)が本町で開催した講座数 ②本町学生のOISTへの短期留学数				
42	新しい時代にふさわしい教育推進事業(大学連携)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値(①)	5 回	5 回	2 回	40.0%	×
			値(②)	7 人	19 人	5 人	26.3%	×
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	今年度より事業を実施し、大学との連絡や学校との連携の課題があったが、講座を受講した生徒や、沖縄に行った生徒からの感想では大変充実していた。				
	事業主体	今後の取組方針		OISTでの研究発表(SCORE)に学生たちを連れて行くために準備していきたい。昨年度は1校を対象とし沖縄訪問を実施しましたが、次年度以降は島内の中学生を対象に希望者を募って実施したい。また希望者を増やすため、OISTより講師を招き、「出前授業」を行い、少しでも興味を持ってもらうようにしていきたい。またOISTだけでなく、他の大学や地元の中学生等との交流も視野に入れて事業を実施したい。				
	徳之島町							
番号	事業名		アウトカム指標	本事業参加者(生徒)の高校卒業までにおける「公益財団法人日本英語検定協会」が行っている実用英語検定の2級取得者数				
43	新しい時代にふさわしい教育推進事業(海外語学留学事業)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	3 人	9 人	2 人	22.2%	×
			事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	3名中、全員が英検2級受験に挑み、2名が2級を取得した。事業参加時点で、大体の参加者が準2級を取得しているため、事業に参加した数字にできる効果として、2級以上の取得を目指していきたい。		
	事業主体	徳之島町	今後の取組方針		事前研修・事後研修・現地でのネイティブな英語コミュニケーションの経験を経て語学力の向上を目指す。また、この経験をその後の進路や生き方へ活かし、自信や自己向上意欲を高めることを目標とする。高校生活期間取得した語学力を証明するために英検2級以上の取得について推奨していく。			
番号	事業名		アウトカム指標	①プログラミング能力検定ビジュアル言語4級合格者数 ②プログラミング能力検定テキスト言語3級合格者数				
44	プログラミング教育確立事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値(①)	1 人	5 人	2 人	40.0%	×
			値(②)	1 人	5 人	1 人	20.0%	×
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	積極的に学習を進めており、目標達成に向け順調に推移している。				
	事業主体	今後の取組方針		プログラミング教室の講師育成と確保に注力し、より学習しやすい環境を整える。				
	徳之島町							
番号	事業名		アウトカム指標	①とくのしま劇団の団員数 ②とくのしま劇団公演の観客数				
45	とくのしま劇団事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値(①)	0 人	30 人	13 人	43.3%	×
			値(②)	0 人	500 人	300 人	60.0%	×
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	13人の団員で活動し、令和7年2月に本公演を実施した。				
	事業主体	今後の取組方針		現在は、本公演のみ公演(成果発表)だが、今後は島内でのイベントに出演するなどして、観光客への徳之島のPRの場として、活用したいと考えている。				
	徳之島町							
番号	事業名		アウトカム指標	各集落別シマグチのインターネット上への公開数				
46	シマグチ伝承プロジェクト事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 6 年度		
			値	0 本	39 本	51 本	130.8%	○
			事業実施年度	R 6	評価	町内を13集落に分けてテーマ別に収録した方言39本。4集落の単語別方言12本。合計51本の動画を「徳之島町郷土資料館YouTubeチャンネル」に掲載し、インターネット上に公開した。		
	事業主体	徳之島町	今後の取組方針		本町教育委員会では、町誌編さん室が町誌編さん事業に取り組んだ過程で収集した資料等を有効活用することを目的に、今年度より「とくのしま学」と題した郷土学習に取り組んでいる。その一環として、今事業で作成した動画を学習教材として活用する。			

番号	事業名		アウトカム指標	徳之島町が管理する歴史文化遺産アーカイブで公開するコンテンツの数				
47	歴史文化遺産アーカイブ構築事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 6 年度		
			値	0 本	60 本	320 本	533.3%	○
	事業実施年度	R 6	評価	本町の文化財、郷土資料館が保管する収蔵品など519件のデジタルデータを作成し、「郷土資料館歴史文化遺産アーカイブ」としてデータベースシステムを構築。320件をインターネット上に公開した。				
	事業主体	徳之島町	今後の取組方針	収蔵品台帳に掲載されているものの、該当する収蔵品が無いものなどを照合する作業を進め、未公開のデータを順次更新する。また掲載内容の確認や新規追加に取り組み、データベースの内容充実に努める。				
番号	事業名		アウトカム指標	自然体験参加者の環境保全活動の取り組み率				
48	環境教育推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	0 %	50 %	45 %	90.0%	△
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	令和8年度目標の50%に近い数値を達成できている。				
	事業主体	伊仙町	今後の取組方針	令和8年度目標の50%に近い数値を達成できているため今後も継続して実施していきたい。				
番号	事業名		アウトカム指標	村内全生徒のうちのインターネット塾受講者の割合				
49	インターネット塾開講事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	29 %	50 %	11.5 %	23.0%	×
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	全3学年を対象に開塾し、3年生には受験対策、1・2年生には基礎学力の向上が早い段階で培われ、勉強に対する「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来た。また、今後の生徒本人の「人間力」の向上にも繋がるのが期待できる。				
	事業主体	大和村	今後の取組方針	これまで、村防災センター会議室にて一堂に会し授業を行っていたが、令和7年度から個別指導型に改め、自宅でも受講可能な環境を整備することで、時間や場所の制約をなくし、より多くの生徒が利用しやすい仕組みづくりに取り組む。				
番号	事業名		アウトカム指標	遠隔双方向ライブの授業参加人数				
50	遠隔双方向ライブ授業事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値	302 人	400 人	732 人	183.0%	○
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	R5年度現況値329人に対し、実績値732人と大幅な参加者数の増加となっている。				
	事業主体	伊仙町	今後の取組方針	今後も受講参加者数を増やし、離島の学生の学力向上に繋げていきたい。				
番号	事業名		アウトカム指標	龍郷町内における敷料供給量				
51	龍郷町敷料生産施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値	0 m ³	732 m ³	m ³		-
	事業実施年度	R 6 ~ R 7	評価	R6年度発注 R7年度施設完成(繰越)				
	事業主体	龍郷町	今後の取組方針	令和7年度施設完成。各種手続きを行い、令和8年度本格稼働予定。				
番号	事業名		アウトカム指標	①徳之島町内におけるさとうきびの生産量 ②徳之島町内におけるさとうきびの反収量				
52	環境保全型農業推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 6 年度	令和 6 年度		
			値(①)	53,811 t	54,887 t	52,408 t	95.5%	△
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	値(②)	5,123 kg	5,225 kg	5,338 kg	102.2%	○
	事業主体	徳之島町	今後の取組方針	単収については、目標値を達成することができたが、生産量については農家戸数の減に伴い目標値を達成することができなかった。 農家の方に堆肥の重要性を認識させることによって、積極的な堆肥の施用を進め、単収・生産量の向上を図りたい。また、土づくりにもなるため堆肥投入を今後も推進していきたいと思っている。				

53	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島の総人口				
	移住及び定住促進事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 10 年度	令和 6 年度		
			値	101,500 人	95,562 人	97,777 人	102.3%	○
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	当該年度の目標は設定していないが、国立社会保障・人口問題研究所が令和5年12月に公表された2025年の奄美群島の推計人数(97、424人)を、上回っている。			
事業主体	今後の取組方針	引き続き、本事業を実施し、奄美群島の総人口の減少を抑制するため、移住及び定住を促進するとともに、交流人口の拡大を図っていく。						
市町村								
54	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	留学生人数				
	奄美らしい離島留学推進事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	108 人	163 人	81 人	49.7%	×
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	令和6年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は81人であり、昨年度の78人を上回った。			
事業主体	今後の取組方針	今後とも集落文化の担い手不足や小・中学校及び高校の存続、産業の担い手不足を解決するため、離島留学の取組を実施していく。						
市町村								
55	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島内における総生産額(名目)				
	奄美群島加工品販路拡大支援実証事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	348,372 百万円	354,059 百万円	百万円		—
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	※統計数値が示されていないため達成度未定			
事業主体	今後の取組方針	本事業の周知を徹底し、申請及び助成件数増へとつなげ、事業者を引き続き支援することで、販路拡大の機会創出を図るとともに、事業者の育成に繋げる。						
市町村								
56	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	後継者(図案・締・染色加工の従事者数)の育成数				
	本場奄美大島紬後継者育成事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値	3 人	5 人	4 人	80.0%	△
	事業実施年度		R 6 ~ R 8	評価	締め・泥染・図案・加工の各1名を育成(締め・泥染はR6年度で終了)			
事業主体	今後の取組方針	県の後継者育成インターンシップ(県内外ものづくり系学校の学生等と事業者とのマッチング)等を活用した確度の高い後継者の確保に努め、研修終了後も継続就業が可能な環境づくり(業務請負ではなく事業所での安定した雇用や、十分な賃金の提供)を業界に呼びかけていく。						
本場奄美大島紬産地再生協議会								
57	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①事業化に係る公募事業への応募・提案件数(期間中の累計) ②事業の社会実装に係る支援件数(期間中の累計)				
	海洋教育を中心とした問題解決型学習による人材育成事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値(①)	8 件	40 件	10 件	25.0%	×
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	値(②)	3 件	15 件	3 件	20.0%
事業主体	評価	人材育成講座(定員8名)を実施し10名。講座の成果発表会と合わせて実施したビジネスプランコンテスト(イノベーションちゅAWARD2025)では10名が発表し、3名(3事業)を優良事業として選定するなど目標達成に向けて取組みを進めている。また、R5年度に選定された事業について資金助成及び有識者による伴走支援を実施。(3名に伴走支援を実施)						
与論町	今後の取組方針	引き続きPBLによる人材育成講座及びビジネスプランコンテストを実施するとともに、町内外の関係機関等と連携しながら起業・創業支援体制を構築し、人材育成・起業支援を実施する。						

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美大島・徳之島内のネコの不妊手術件数				
58	ネコ対策事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	事業実施年度		値	755 件	779 件	405 件	52.0%	×
	R 6 ~ R 10		評価	令和6年度のネコの不妊手術件数は405件であった。未手術の個体数が減少していることより、実績が減少しているが、飼い猫の不妊手術、野良猫のTNR等を通し、ネコの自然増加を抑制し生態系保全の取組を推進することができた。				
事業主体	今後の取組方針	引き続き関係市町村、関係機関と連携しつつ、猫の不妊手術を行っていく。						
奄美大島5市町村 徳之島3町								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	パトロール1回あたりの希少種確認種類を1年間積み上げた数				
59	奄美大島希少野生動植物保護事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	事業実施年度		値(①)	1,440 種	1,440 種	1,440 種	100.0%	○
	R 6 ~ R 10		評価	パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。				
事業主体	今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について、盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。						
奄美大島自然保護協議会								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	自然体験参加者の環境保全活動の取り組み率				
60	徳之島希少野生動植物保護事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	事業実施年度		値	0 %	50 %	38 %	76.0%	△
	R 6 ~ R 10		評価	盗掘・盗採パトロールを行うとともに、外来種の駆除を行った。また、普及啓発を行い、住民等の環境保全に関する意識向上を図った。				
事業主体	今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について、盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。						
徳之島3町								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美大島4市町村のノヤギの捕獲頭数				
61	ヤギ被害防除対策事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	事業実施年度		値	201 頭	215 頭	184 頭	85.6%	△
	R 6 ~ R 10		評価	令和6年度のノヤギの捕獲頭数は184頭であった。野生化したヤギを駆除することで、植生破壊や土砂崩壊による海洋汚染等を未然に防ぐことができた。				
事業主体	今後の取組方針	引き続き、ノヤギ捕獲により生息数の減少を図る。また、今後生息数の調査が検討されており、調査結果を踏まえ、事業効果の分析を行う事とする。						
奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	モニタリング調査を継続実施した箇所において、 ①サンゴ礁被度がR2(またはR2以降初めて調査した年)と比較して、5%以上、上昇した箇所数 ②サンゴ礁被度がR2比で5%以上、低下した箇所数 ③サンゴ礁被度が60%以上の箇所数				
62	サンゴ礁保全対策事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値(①)	28 箇所	52 箇所以上	12 箇所	23.1%	×
			値(②)	11 箇所	6 箇所以下	64 箇所	1066.7%	○
	事業実施年度		値(③)	36 箇所	45 箇所以上	12 箇所	26.7%	×
R 6 ~ R 10	評価	令和6年度の実績は、それぞれ①12箇所、②64箇所、③12箇所であった。オニヒトデ駆除数は減少傾向にあるが、引き続きモニタリングを実施し、目標達成を図っていく。						
事業主体	今後の取組方針	モニタリング調査結果を踏まえ、サンゴ礁の被度の地域毎の傾向を分析しつつ、効果的な事業を実施していく。						
市町村								

番号	事業名		アウトカム指標	①奄美群島内の防災行政無線の整備率 ②奄美群島内の防災拠点施設(避難所等)の要修復箇所数				
63	防災関連施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値(①)	75 %	75 %	75 %	100.0%	○
			値(②)	58 箇所	36 箇所	67 箇所	186.1%	○
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	着実に要修復箇所の整備が進められている。				
	事業主体	今後の取組方針		台風常襲地帯である奄美群島において、安全・安心な環境を整備していく必要性は高いため、引き続き事業を実施していく。				
	奄美市 外10町村							
番号	事業名		アウトカム指標	奄美市内の事業所数				
64	政策連携による多様な働き方モデル創出事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 6 年度	令和 6 年度		
			値(①)	2,672 件	2,685 件	件		—
	事業実施年度	R 6	評価	事業のアウトカム指標に関する実績については12月の確報をもって分析する。個別事業については、創業支援において創業者数がR6目標値20に対して実績が20であり、その他事業についても概ね目標通りの実績であった。				
	事業主体	奄美市	今後の取組方針		多様な働き方の推進は、離島である奄美において、地域の稼ぐ力の向上やワークライフバランスの向上にも非常に重要な支援の一つであることから、R7年度以降についても、これまでの事業成果を分析した上で、継続は必要な部分と民間主導で推進できる部分を精査し、再構築した上で、事業を推進していきたい。			
番号	事業名		アウトカム指標	①ドローンを操縦できる人材の数 ②ドローン操縦者の増加所得額				
65	デジタル技術を活用した地域課題の解決事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値(①)	5 人	10 人	4 人	40.0%	×
			値(②)	0 千円	100 千円	千円		—
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	操縦できる人材を増やすことはできた。加えて安全管理・訓練管理・天候把握のスキルを付けることができている。しかし所得増加には繋がっていない。				
	事業主体	今後の取組方針		ドローン技術が地域において、普通に活躍する状況を目指して、その土台となるノウハウの確立と展開を実行していく。				
	瀬戸内町							
番号	事業名		アウトカム指標	①5月に把握した個体数の産卵期(10月)までの死亡率 ②繁殖を妨げるナイルティラピア・グリーンソードテール・コイ等の水生移入生物の駆除数の累計				
66	リュウキュウアユ保護増殖事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値(①)	90 %	63.6 %	0 %	0.0%	×
			値(②)	1,587 匹	1,957 匹	1,916 匹	97.9%	△
	事業実施年度	R 6 ~ R 10	評価	①天然のリュウキュウアユ個体数が激減しているため、養殖のための採捕を行わず、生体展示用個体の飼育に努めた。 ②水生移入生物の駆除によって、河川の環境改善に努めた。				
	事業主体	今後の取組方針		①今後も天然のリュウキュウアユの個体数によっては天然個体の生存を最優先とし、可能な場合に採捕を行い、養殖個体数の増加及び死亡率の減少に努める。 ②水生移入生物の駆除により、天然のリュウキュウアユが生息する環境の改善に貢献できていると考えられるため、今後も継続する。				
	奄美大島自然保護協議会ヤジ分会							

番号	事業名		アウトカム指標	①徳之島町における新規漁業者数 ②甲殻類(エビ・カニ)の漁礁を設置することによる漁獲量の増加量				
67	奄美群島水産業活力向上プロジェクト事業 ①新規漁業者育成事業 ②甲殻類漁礁実証事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	値(①)		1 人	2 人	2 人	100.0%	○	
	値(②)		0 t	2 t	0 t	0.0%	×	
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	①新規漁業者育成事業 目標している新規漁業者を2名確保できたのでよかった。今後も1人でも多くの新規漁業者を確保し、育成していきたい。 ②甲殻類漁礁実証事業 モニタリング調査を実施する度に多種多様な魚が住み着いてきている。藻や貝類等の付着も増えてきて、魚礁に魚が住み着きやすい良い環境になってきた。しかし、調査において魚礁で十分な漁獲量が得られない状況なので漁は未だに実施できていない状況である。今後も漁協と連携し、水産物漁獲量の安定と増加に繋げ、水産業の振興を図りたい。			
事業主体	徳之島町	今後の取組方針	①新規漁業者育成事業 漁協と連携して、一人でも多くの新規漁業者の確保・育成を行う。 ②甲殻類漁礁実証事業 漁協と連携して、魚礁の検証・事業効果を把握し、水産物漁獲量の安定と増加に繋げ、水産業の振興を図る。					
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島内における総生産額(名目)				
68	新型コロナウイルス感染症対策利子補給事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 10 年度	令和 6 年度		
	値		348,372 百万円	355,955 百万円	百万円		—	
	事業実施年度		R 6 ~ R 7	評価	※統計数値が示されていないため達成度未定			
事業主体	市町村	今後の取組方針	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障を来している者に対し、利子補給の支援を実施することで産業の活性化を図る。					
番号	事業名		アウトカム指標	星空等に関連したツアープログラムの開発数				
69	星空観光推進環境整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	値		4 件	6 件	10 件	166.7%	○	
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	※令和7年度へ繰越			
事業主体	与論町	今後の取組方針	町内の屋外照明を光害対応型の屋外照明に取り換え、星空観望に適した環境整備を実施する。					
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島全体における延べ宿泊者数				
70	観光拠点連携整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	値		749 千人	916 千人	千人		—	
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	※統計数値が示されていないため達成度未定			
事業主体	市町村	今後の取組方針	アフターコロナを見据え、今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、引き続き当事業で拠点施設の整備を進める。					
番号	事業名		アウトカム指標	加計呂麻島への年間入込客				
71	スリ浜地区トイレ・シャワー施設	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
	値		40,000 人	50,000 人	40,269 人	80.5%	△	
	事業実施年度		R 6 ~ R 7	評価	※令和7年度へ繰越			
事業主体	瀬戸内町	今後の取組方針	アフターコロナを見据え、今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、必要性や優先度を勘案しつつ、引き続き当事業で拠点施設の整備を進める。					
番号	事業名		アウトカム指標	与論島内の人泊数				
72	持続可能な観光受入施設整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
	値		82 千泊	126 千泊	109 千泊	86.5%	△	
	事業実施年度		R 6 ~ R 10	評価	※令和7年度へ繰越			
事業主体	与論町	今後の取組方針	持続可能な観光地づくりのため、観光施設や公衆トイレ等のユニバーサルデザインを実施する。					

73	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	受診患者件数				
	宇検村医療体制強化事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値	6,399 件	7,000 件	10,266 件	146.7%	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	作成した実施設計をもとに新たに診療所を建設した。これにより、日常的な診療体制の強化および高齢化に伴う医療需要への対応が可能となった。			
R 6	医療と福祉の連携を強化し、住民のさらなる健康増進につなげる。医療機器を充実させる。							
事業主体	宇検村							
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	加工品商品化件数				
74	島育ち館加工設備整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 5 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値	0 件	5 件	0 件	0.0%	×
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	※令和7年度へ繰越			
R 6 ~ R 7	令和7年度整備完了。令和8年度本格稼働予定。							
事業主体	龍郷町							
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	町内における堆肥供給量				
75	堆肥生産施設整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値	0 t	492.75 t	0 t	0.0%	×
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	※令和7年度へ繰越			
R 6 ~ R 7	令和7年度施設完成予定。令和8年度本格稼働予定。							
事業主体	龍郷町							
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	まほろば水と森公園(野生生物保護センター含む)への入込客数				
76	まほろば水と森公園再整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	8,968 人	30,000 人	11,454 人	38.2%	×
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	※令和7年度へ繰越を行い、公園内の再整備を実施する。			
R 6 ~ R 9	令和7年度に、駐車場・遊具施設・モニュメント・転落防止柵等の整備を行い、令和8年度に園内園路の再整備、令和9年度に人道橋の再整備を予定している。再整備後には、園内にあるアマノクロウサギミュージアムQuru Guru及び環境省奄美野生生物保護センターのハブ施設として、自然体験のフィールドに寄与することにより、観光誘客の推進を図る。							
事業主体	大和村							
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①加計呂麻島への入込客数(交流人口) ②ターミナル施設の利用者数(地域住民及び交流人口)				
77	加計呂麻島ターミナル施設整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 7 年度	令和 6 年度		
			値(①)	46,736 人	50,000 人	40,269 人	80.5%	△
	値(②)		50,000 人	53,000 人	44,000 人	83.0%	△	
事業実施年度	今後の取組方針	評価	事業期間が令和3年度から令和7年度までの5カ年計画としており、事業評価については、ターミナル施設供用開始以降(R7.7)の利用者数等を集計し達成度評価を行うものとしている。					
R 6 ~ R 7			令和7年7月にターミナルを供用開始したところであり、令和7年度においては、旧待合所の解体及び駐車場整備を行い、事業完了を予定している。					
事業主体	瀬戸内町							
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数				
78	あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度		
			値	110,000 人	130,000 人	133,262 人	102.5%	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	塗装工事を令和7年度へ繰越。施設が完成していないため達成状況に直接的な影響はないが、コロナ禍以降、入込客数は回復傾向にあるほか、本町のベストツーリズムビレッジ認定等の追い風を受けさらなる入込客数の増加が期待される。整備に併せて、施設運用へ向けた具体的協議を進め、供用開始後の目標達成に向けた取組を進めている。			
R 6 ~ R 7	令和7年度に仕上げ・外構工事を実施し年度内の施設完成・事業完了、令和8年度からの供用を開始を見込む。供用開始後を見据え、運営体制の構築を進めるとともに、当施設を起点とする新たな観光コンテンツ等の造成に努め、本町における観光拠点施設としての機能向上を図り、交流人口の拡大に取り組む。							
事業主体	天城町							

79	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	来訪者動向モニタリングシステムで集計している観光客向けアンケートにおける滞在満足度の項目(案内板・標識などの整備状況)から抽出した満足度平均値(5段階評価)					
	新しい観光道標設置整備事業	事業実施年度	R 6 ~ R 7	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
				年度	令和 4 年度	令和 8 年度	令和 6 年度			
				値	3.9 ポイント	4.3 ポイント	3.9 ポイント	90.7%	△	
	事業主体	和泊町	今後の取組方針	整備されて10年以上となり、経年劣化や破損等がみられる既設観光道標を撤去し、令和7年度中までに新たな観光道標を設置することにより、来島者の利便性向上につなげる。						
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	抜港・条件付運行に伴う産業分野での逸失額の抑制及び物資輸送量の増大を通じた町民所得の向上(直近の統計値を100とした比率)						
80	奄美群島流通効率化事業	事業実施年度	R 6 ~ R 7	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
				年度	令和 2 年度	令和 8 年度	令和 6 年度			
				値	100 %	103 %	%		-	
	事業主体	与論町	今後の取組方針	※令和7年度へ繰越						
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島内における総生産額(名目)						
81	稼ぐ力の向上に向けた創業・事業拡大支援事業	事業実施年度	R 6 ~ R 10	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
				年度	令和 2 年度	令和 10 年度	令和 6 年度			
				値①	348,372 百万円	355,955 百万円	百万円		-	
	事業主体	市町村	今後の取組方針	創業・事業拡大を行う者に対する融資を行う金融機関に対して、利子相当額の支援を実施することで稼ぐ力の向上を図る。						
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	近接する奄美野生生物保護センターの来館者数						
82	アマミノクロウサギ飼育施設展示施設整備事業	事業実施年度	R 6	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
				年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
				値	12,217 人	30,000 人	11,454 人	38.2%	×	
	事業主体	大和村	今後の取組方針	令和7年4月に施設開所を行い、クロウサギの保護研究を行うとともに、来館者への普及啓発を図る。また、自然環境シンポジウムを関係者参集のもと開催し、本施設の意義や今後の連携等本施設に期待されることを具現化し、本施設が更に取り組みべき方向性の深掘りを行う。施設内でのイベントを通して誘客の促進を行い、自然保護の普及啓発を行う。						
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	来訪者動向モニタリングシステムで集計している観光客向けアンケートにおける滞在満足度の項目(案内板・標識などの整備状況)から抽出した満足度平均値(5段階評価)						
83	新しい観光道標設置整備事業	事業実施年度	R 6	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
				年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
				値	3.8	4.2	3.9	92.9%	△	
	事業主体	知名町	今後の取組方針	既存誘導サイン63基を撤去し、新規誘導サイン32基を設置した。 今回整備した新規誘導サインの設置により、観光地への案内機能が強化され、まち歩きのしやすさや地域の回遊性が向上することが想定されるため、今後は、効果検証をおこないつつ、本整備を「点」から「面」へと発展させ、地域全体の魅力を高めながら、どなたでも安心して観光を楽しめる環境の実現を目指す。						

番号	事業名		アウトカム指標	徳之島への入込客数				
84	あまぎ自然と伝統文化 体験館整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
			値	128,000 人	132,000 人	133,262 人	101.0%	○
	事業実施年度			評価	屋根工事、電気設備工事が完了した。 施設が完成していないため達成状況に直接的な影響はないが、コロナ禍以降、入込客数は回復傾向にあるほか、本町のベストツーリズムビレッジ認定等の追い風を受けさらなる入込客数の増加が期待される。整備に併せて、施設運用へ向けた具体的協議を進め、供用開始後の目標達成に向けた取組を進めていく。			
	事業主体			今後の取組方針	令和7年度に仕上げ・外構工事を実施し年度内の施設完成・事業完了、令和8年度からの供用を開始を見込む。供用開始後を見据え、運営体制の構築を進めるとともに、当施設を起点とする新たな観光コンテンツ等の造成に努め、本町における観光拠点施設としての機能向上を図り、交流人口の拡大に取り組む。			
	天城町							
番号	事業名		アウトカム指標	星空等ツアープログラム数				
85	星空観光推進環境整備 事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
			値	0 件	10 件	10 件	100.0%	○
	事業実施年度			評価	屋外照明を光が対応型の屋外照明に取替を実施した(93台を取替)			
	事業主体			今後の取組方針	町内の屋外照明を光害対応型の屋外照明に取り換え、星空観望に適した環境整備を実施する。			
	与論町							